

事業報告概要書（公表版）

1 基本情報							
施設名又はグループ名		指定管理者名及び団体概要					
武蔵野の公園グループ		(指定管理者名) 武蔵野の公園パートナーズ (団体の概要) 代表者 西武造園株式会社 構成員 特定非営利活動法人NPO birth、 ミズノスポーツサービス株式会社、一般社団法人防災教育普及協会					
指定期間							
R5.4.1 ～ R10.3.31 (5年間)							
2 施設名		3 収支(単位:千円)					
武蔵野公園			令和6年度	令和5年度	令和4年度	公園別支出額	
浅間山公園		項目	金額	金額	金額		
野川公園		収入 計	809,063	506,440	595,893	武蔵野公園 124,526	
玉川上水緑道		内訳	指定管理料	809,063	506,440	595,893	浅間山公園 124,070
武蔵国分寺公園			利用料金				野川公園 222,284
東伏見公園			その他収入				玉川上水緑道 162,435
六仙公園		支出 計	809,338	506,440	595,893	武蔵国分寺公園 101,082	
		収支差	△275	0	0	東伏見公園 11,836	
						六仙公園 63,105	
4 管理運営の概要							
<p>公園利用の可能性をさらに広げる視点「CHANCE IN THE PARK」を掲げ、①スポーツやボランティア活動を通じて「心身の健康」、地域連携や協働イベントを通じた「地域コミュニティの健康」、生物多様性や環境負荷軽減等の「地域環境の健康」という3つのヘルシーを実現させる「おさしのヘルシーパーク」を実践した。4月に開所した六仙公園サービスセンターの設計では指定管理者が蓄積したノウハウを活かし授乳室のニーズの高さや、大人用介助ベッドの設置を提案したことで利用者ニーズに合った施設を開所でき利用者から好評を得ている。武蔵野公園では野球場を使用したトップアスリートによるイベントを初開催し、元プロ野球選手から指導を受けられる貴重な体験を通してスポーツの普及や振興に寄与することができた。</p>							
5 管理状況							
①維持管理							
<p>1. 生物多様性の保全に配慮した維持管理の実践 国分寺崖線や玉川上水など東京の「水と緑の骨格軸」となる地域で、生物多様性を向上させる維持管理を戦略的に実施した。浅間山公園や玉川上水緑道のガイドライン実践運用により、雑木林環境を大きく回復させた。野川公園では地域連携により江戸時代に地域で営まれていたワサビ田の景観を再生し、池の浚渫などの保全管理と合わせて湿地環境を飛躍的に再生させた。杉並区の玉川上水緑道では絶滅危惧種キンランが1.7倍に増加。野川公園では絶滅危惧種ニホンアカガエルが生息範囲を広げ、初めて隣接する武蔵野公園で確認。それぞれ絶滅の危機を回避させることができた。全7公園での希少種データベースは149種となり、東京都のネイチャーポジティブに貢献できた。</p> <p>2. 利用者の安全安心な利用を支える維持管理の実践 公園情報を一元管理するために独自開発した「パークモニタリングアプリ」を継続運用し、日常の作業の記録の他、要望箇所や不具合箇所の即時報告、迅速な対応に努め、利用者の安全性のほか快適性の維持、向上に繋げた。また、過去のデータを分析し、苦情要望の発生しやすい箇所の作業計画を組み、苦情要望の削減に努めた。直営維持管理スタッフを対象に年2回の安全会議を実施。第1回目は安全な草刈り作業、第2回目は剪定作業時の脚立の安全な使用方法をテーマとした会議を実施し維持管理スタッフの安全意識や技術向上を図った。</p>							
②利用者への対応							
<p>1. パートナーシップによる公園づくりを推進 パークミーティング等において、地域や公園特性・課題に応じた多種多様な主体の参画を求め、集まった意見やアイデアを公園管理に反映させた。武蔵野公園ではスケートボード団体、浅間山公園・野川公園・玉川上水緑道では環境保全ボランティア団体、武蔵国分寺公園ではまちづくり団体、東伏見公園・六仙公園では防災関連団体を中心に連携を図り、パートナーシップによる公園づくりを進めた。特に武蔵国分寺公園では、隣接地への市庁舎移転に伴い、相互利用促進のため年4回のパークミーティングを実施。地域住民や国分寺市と積極的な意見交換を行い、公園ルールとの調整や相互利用の具体化を進めた。</p> <p>2. 利用者ニーズの把握、反映とわかりやすい情報提供の実施 日々の意見情報や公園の状況について、パートナーズ独自のパークモニタリングアプリを用いて業務日誌に記録しデータを蓄積し、管理する7公園に対する年間総数15,843件の意見情報をデータベース化。植栽管理、利用マナーなどの苦情要望については早急に対応を検討し、公平・平等な立場で各部署スピード感を持って適切に対応した。すぐに対応できない案件については対応完了まで進捗確認を行い、未対応ゼロを徹底。また、広報においてはホームページからのタイムリーな情報発信はもちろんのこと、利用者層によってSNSなどのツールを使い分け、効果的な情報発信を行った。Instagramを116回、Facebookを115回更新し、公園の魅力やイベントの情報提供に取組んだ。また、毎年発行している広報冊子「おさしのパークライフマガジン」の記念すべき20号発刊、「公園とアート」をテーマにあらたな目録での公園の過ごし方を提案した。</p>							
6 利用者アンケート結果							
実施方法：							
施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応		
武蔵野公園	4.7	4.5	4.5	4.5	4.5		
浅間山公園	4.7	4.5	4.6	4.5	4.7		
野川公園	4.8	4.5	4.4	4.5	4.7		
玉川上水緑道	4.6	4.0	4.2	4.2	4.5		
武蔵国分寺公園	4.8	4.7	4.6	4.6	4.6		
東伏見公園	4.6	4.1	4.5	4.5	4.5		
六仙公園	4.5	4.4	4.3	4.3	4.4		
7 入園者数の状況(単位:人)							
施設名	当該年度	分析					
武蔵野公園	431,795	近隣住民や利用者のご意見・要望に誠実に対応してきたことが評価につながった					
浅間山公園	139,178	利用者の安全を最優先にナラ枯れ被害木の伐採を進め、自然環境や景観の改善が評価につながった					
野川公園	1,663,043	適切な維持管理により快適な広場や観察園を維持できたことが評価につながった					
玉川上水緑道	531,381	維持作業・保全活動により貴重な環境を維持できたことが評価につながった					
武蔵国分寺公園	1,295,183	地域と連携した多数のイベントと大型持込イベントが市政60周年で2日間開催となり、利用者数が増加した					
東伏見公園	1,203,814	利便性の良さや鉄道機関との広報連携で認知度が向上し、利用者数が増加した					
六仙公園	365,550	4月に管理所オープンし、新たに園地が広がったことで利用者数は増加した					
合計	5,629,944						



都立武蔵野公園

所在地：小金井市、府中市
開園面積：25.6ha

- < マネジメント目標（武蔵野公園パークマネジメントプランより） >
- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
 - ・水と緑のネットワークを形成する都立公園
 - ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
 - ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
 - ・スポーツによる健康づくりの場となる都立公園
 - ・子どもたちの健やかな成長の場となる都立公園
 - ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

公園
特性

地域
特性

- 春には、**約40種・600本のサクラ**が園内を彩る。
自由に散策ができる園場がある
桜マップの配布
- 苗圃では様々な木々が見られる。
- 武蔵野の**原風景を感じさせる風情**が残る。
- 古くから**地域活動の拠点**として親しまれている。
はらっぱ祭り／わんぱく夏まつり等
- 武蔵野本来の林床生態系**が残る。
ニリンソウ群生地

ポテンシャル
分析

- 園内中央には野川が流れ、北側には調整池を挟み**国分寺崖線が残る**。
- 「武蔵野夫人」等多くの**文学の舞台となった「はけの道」が北側に位置する**。
- はけの**地域特性を活かした、地域活動が盛ん**。

テーマ

武蔵野の面影が残る
多種の桜と苗圃がある公園

ALL
Parks

全公園で
展開した事業

3
Parks

管理所のある3公園で
実施した事業

New!

公園に新しい魅力を加える・利便性を高める事業

1 公園開園60周年！アニバーサリープロジェクト実施！

公園の開園60周年を利用者と共にお祝いする「**アニバーサリープロジェクト**」を実施。8月に公園の訪問記念オリジナルスタンプの公開、11月に記念花壇の植え付けを実施した。これらの取組を通して、来園者からは「武蔵野公園60周年おめでとう！」の声が多く寄せられ、**公園の開園記念について広く周知し、公園に新しい魅力を加えることができた**。

公園の訪問記念オリジナルスタンプ



スタンプの設置状況

スタンプを押した参加者の様子

▶武蔵野地域の魅力発信を行う近隣のアトリエ兼ショップのデザイナーと調整を重ね、**武蔵野公園を象徴するモチーフ（くじら山、はらっぱ等）**をデザインに盛り込んだ。スタンプは、**公園の開園日である8月1日より設置し**、武蔵野公園の魅力を発信すると共に、今後も長く活用できる公園の訪問記念品とすることができた。

開園60周年記念花壇



花苗を「60」の形に植え付け

植え付けた花と記念撮影！

▶来園者が手ぶらで参加できるボランティア活動形式で実施。60株のビオラの花苗を**さまざまな年代の来園者約100人**と共に「**60**」の文字の形に**植え付けた**。



アニバーサリープロジェクト
広報チラシ

New!

東京2020大会レガシーを継承する取組

2

トップアスリートによる地域スポーツ振興！アスリートクリニック初開催！

▶ プロの技術や精神の直接伝授、参加者間の交流を促進するプログラム「アスリートクリニック」として、野球場を利用し元プロ野球選手の内川 聖一氏を講師に迎え、小学生を対象に野球教室を開催した。教室では講師の指導に熱心に耳を傾けながら、プロの技術を目の当たりにし憧れの眼差しで目を輝かせている子どもたちの様子が見られた。「楽しかった！また参加したい！」「プロ野球選手からアドバイスをもらえて嬉しかった！」など好評の声も多数いただき、元プロ野球選手から指導を受けられる貴重な体験を通してスポーツの普及やスポーツ振興に寄与することができた。



バッティングの講義を真剣に聞く子どもたち



小学生にもわかりやすく丁寧に指導する内川氏



教室後には内川氏と写真撮影

質の高いサービスを提供するための取組

3

施設を安心安全に利用できるようにトイレの環境を改善！

▶ 園内トイレでは防犯やプライバシーの課題を維持管理スタッフの技術で改善した。1号トイレは波板を加工し窓枠を改修、3号トイレ前には木材でプランターを製作し苗木を植えて目隠しを作り、利用者の安心安全を高めることができた。



DIYで大型プランターを製作



窓枠に波板を取り付け保護

災害時に利用者の安全を守るための取組

4

設備の点検と共に災害対応能力を向上させた仕組みづくり！

▶ 有事の際に誰でも対応ができることをテーマに防災設備の点検を実施した。防災あずまやではテント設営を複数人で行う必要があり手順書もないため、新たにマニュアルを作成。避難者とも協力して迅速に設営できる仕組みをつくることができた。



防災あずまやのテント設営



手順書を作成しわかりやすくした

質の高いサービスを提供するための具体的な取組

5

小金井市事業と連携した取り組み

▶ 小金井市の名勝小金井(サクラ)指定100周年記念事業と連携し、園内で見頃となっているサクラをはじめ、春の花や野鳥を観察する観察会を開催。幅広い世代の来園者に園内の魅力を伝えることができた。



満開のサクラを観賞する参加者



園内のサクラの様子

6

市民団体と連携した管理運営の取組

スケートボード広場のオープンに向けパークミーティングを実施！

▶ スケートボード広場整備事業において、指定管理者による運営方針を基に地元市民団体2団体とパークミーティングを開催し、より良い施設にしていくための意見やアドバイスを求めた。今後も市民団体との連携を取りながら、管理に活かしていく。



パークミーティングの様子



緑陰のあるスケートボード広場にスケーターからの期待も高まる

その他の取組

- 国際基督教大学との地域性種苗育成プロジェクト
- 植栽管理の基礎知識・技能習得のための研修参加
- 災害時に機能する各施設の点検と対応力向上
- 快適な公園利用を目指した駐車場混雑緩和の取組
- スプリング遊具の入れ替え
- スポーツイベントチャレンジキャラバン開催
- プレーパーク団体との協働花壇作業
- 犬、野鳥観察マナーアップキャンペーン
- 季節を楽しむセルフガイドシート配布
- 生物多様性スポットの順応的管理
- 「森の地図スタンプラリー」実施
- パークモニタリングアプリの運用

など



都立浅间山公園

所在地：府中市
開園面積：8.8ha

<マネジメント目標（浅间山公園パークマネジメントプランより）>

- ・安全・快適な公園づくりを行う都立公園
- ・水と緑のネットワークを形成する都立公園
- ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
- ・子どもたちの健やかな成長の場となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

公園
特性

- 全国で唯一のムサシノキスゲの自生地である他武蔵野の面影を残す動植物が豊か。
- 公園懇談会「浅间山を考える会」を定期開催。市民団体や自治体、大学等で構成。
- 浅间神社、おみたらし神社、人見四郎の墓跡、富士見百景などの歴史的文化資産がある。
- 毎日の散歩に訪れる利用者のほか、花の見ごろの時期には遠方より来園するナチュラリストも多い。

ポテンシャル
分析

地域
特性

- 多摩の台地が古多摩川等で削られ、残った小高い丘が浅间山となった。
- 公園東側に隣接した多磨霊園、近隣の府中の森公園、東京農工大学の緑地がある。
- 近隣に保育園、小学校や高校、大学があり、環境教育の場として活用されている。

テーマ

武蔵野の生物多様性の
保全モデル

1

都民協働や地域コミュニティとの連携による公園の魅力や地域の価値の向上につながる取組

パークミーティングで調整を重ね、産官学民様々な主体との協働イベントを多数実現！

産官学民様々な主体と共に、協働イベントを多数実現した。スムーズな連携を実現するにあたり、公園の多様な関係者が集まる年4回のパークミーティング「浅间山を考える会」にて、あらゆるイベントの計画・報告・意見交換を実施。協働・イベント担当のパークコーディネーターが中心となり、多様な意見・アイデアをバランス良く受け止めながら企画調整を行い、協働型の公園づくりを推進した。

【浅间山を考える会】

浅间山で活動する産官学民様々な主体で結成されたパークミーティング。公園の管理・活用・保全等について多様な立場と視点から意見交換を行い、浅间山公園のより良い姿について考える場となっている。



「浅间山を考える会」の様子

- 参加団体：浅间山自然保護会/府中野鳥クラブ/浅间山ウォーキングクラブ/東京農工大学植生管理理学研究室/府中市生活環境部環境政策課/府中市都市整備部公園緑地課/東京都建設局西部公園緑地事務所/お山で遊ぼう実行委員会/武蔵野の公園パートナーズ（事務局）

第30回キスゲフェスティバル

- ▶全国で浅间山だけに自生するムサシノキスゲが見ごろとなる時期に「キスゲフェスティバル」を開催。今年は第30回の記念回として、チラシのリニューアルと、音楽会など新企画を実現した。
- ▶新しいチラシには、市民団体「浅间山自然保護会」撮影の写真を採用し、「浅间山を考える会」にて投票を行うなど、関係者の想いが最大限反映されるよう工夫した。



森キッズクラフトDAY

- ▶ドングリなど公園で拾える自然素材を使用した親子向けのクラフト企画「森キッズクラフトDAY」を府中市と共催。参加者がオリジナル作品をつくる中で、浅间山の自然をより身近に感じてもらうことができた。
- ▶市内22校すべての小学校にチラシを配布する等、広報に注力したことで、参加者は昨年度比約3倍となった。



小鳥のおうちをのぞいてみよう！

- ▶市民団体「府中野鳥クラブ」と協働で、調査イベント「小鳥のおうちをのぞいてみよう！」を実施。園内に設置してある巣箱の取り外し・中身確認・取り付けを参加者が体験し、満足度は100%となった。
- ▶参加者がこのイベントをきっかけに「府中野鳥クラブ」に入会する等、ボランティア活動の活性化も促している。

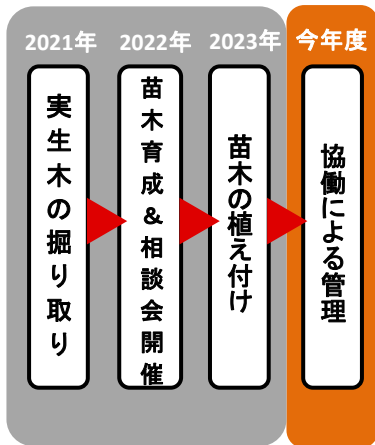


協働型生物多様性保全のトップランナーとしての森づくりと人づくりの実践

2 次世代に豊かな自然を継承し、ネイチャーポジティブ実現へ！

園内ではナラ枯れの影響や東京都による更新伐採後年数が経過したことで、生物多様性の低下が懸念されていた。そこで、浅間山の豊かな自然を次世代に継承し、ネイチャーポジティブを実現すべく、産官学民多様な主体との協働で森づくりや樹林管理を実践。

アクションI 新たな森づくりを実践 New!



草刈り作業の様子

- ▶ ナラ枯れの長期対策として、市民参加型による浅間山の森づくりプログラムを府中市と協働で進めている。今年度は新たな取り組み「森のお手入れ」を実施。
- ▶ 参加者からは「子どもの成長と共に、森づくりに関わっていきいたい！」など意見があり、継続的に関わってもらえる体制を構築することができた。今後も活動を続け、地域に根差した次世代の森づくりを実践していく。

アクションII 新たな樹林管理を実践 New!

【課題】東京都による更新伐採後8年が経過し、切株から伸長した枝が重なり合い、樹木の生育不良や林床が暗くなり、生物多様性が低下していた。そこで、2つの取組を行った。

① 浅間山自然保護会とのパークミーティングを新規実現



パークミーティングの様子

- ▶ 浅間山の課題について議論し、協働で課題解決を図るためのパークミーティング「浅間山連絡会」を新たに計12回開催。
- ▶ この中で、協働での樹林管理「もやわけ」の実施が決まった。

② 協働での樹林管理「もやわけ」を初実施



もやわけの様子

- ▶ パークレンジャーとパークコーディネーターが作業指導・安全管理を行い「もやわけ」を初実施。
- ▶ 林床の明るさが増し、新たな植物の発芽が促され、園内のネイチャーポジティブが進展すると期待される。

減災と生物多様性を兼ね備えた取組

3 激甚化する降雨対策の取り組み

- ▶ 小高い丘に位置する浅間山公園は、降雨時の土砂流出等が課題になっている。そこで、市民団体と連携し側溝機能を保つ取り組みを行っている。



側溝沿いの草刈りにより排水機能を維持



市民団体と連携し側溝内を清掃

- ▶ 東京都事業へ雨水対策と生物多様性向上を目的とした設計提案を行った。
- ▶ 雨水を一時貯留・地下浸透させ、かつ、湿った環境を創出することで湿地性の生きものの生息環境を創出する。



レインガーデンと生物多様性向上を図る設計内容を提案

管理運営についての具体的取組

4 公園の持つポテンシャルを再発掘！

- ▶ 東京都のマネジメントプランを基にスタッフ間で公園の現況や課題、魅力を話し合う「ポテンシャル分析」を実施。維持管理、広報面などの目標を策定し実行できた。



分析シートとワークシート



ワークショップ形式で意見交換



パークレンジャーのガイドで現況や課題を再確認



富士山までの距離を記した看板を製作、富士見百景をさらに盛り立てた

その他の取組

- ・ハイログケグモ確認による駆除と被害防止啓発
- ・ナラ枯れ被害拡大に伴う園路封鎖
- ・台風後の側溝閉塞対応
- ・農工大によるナラ枯れ被害調査
- ・「森の地図スタンプラリー」実施
- ・「冬鳥の観察会」実施
- ・ボランティアの安全管理講習実施
- ・ナラ枯れ後の樹林再生計画作成
- ・若松小学校との協働による全山清掃
- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーン
- ・野草観察、昆虫採集マナーアップの啓発
- ・多様な生物が生息する都立公園づくり事業の検討会参加

など



都立野川公園

所在地：調布市、小金井市、三鷹市
開園面積：40.3ha

<マネジメント目標（野川公園パークマネジメントプランより）>

- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・水と緑のネットワークを形成する都立公園
- ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
- ・スポーツによる健康づくりの場となる都立公園
- ・子どもたちの健やかな成長の場となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

公園
特性

- 武蔵野地域の7公園を**統括する公園**。
- 公園の前身であったゴルフ場を思わせる**大芝生**と季節の自然を楽しめる**大きな樹木群**が魅力。
- 園内には**野川**が流れ、公園北側には**国分寺崖線**の**斜面緑地**が隣接。
- はげの道の自然を観察できる**自然観察園**と**自然観察センター**がある。
- 自然観察園、自然観察センターでは、**約100名のボランティア**が**保全活動**を実施。

ポテンシャル
分析

テーマ

ここに集まる・ここから広がる
武蔵野の自然と文化

地域
特性

- 近隣に武蔵野公園、武蔵野の森公園、多磨霊園、国立天文台、国際基督教大学などの**大きな緑地**が位置する。
- 東八道路が園内を東西に横切り、西側には**西武多摩川線**が通る。
- アメリカンスクール、国際基督教大学、東京外国語大学などが近隣にあり、外国人の住民が多い。

New!

国分寺崖線に関わる産官学民ネットワークの中核を担い、環境人材交流の拠点となる公園づくり

1 自然観察センターを国分寺崖線ネットワークのプラットフォームに！

自然観察センターが2年振りに全面オープンとなった。地域からの期待の声の応え、**国分寺崖線を俯瞰する航空写真を使った床面マップ**など**新規展示物**を導入し、来園者の目を楽しませた。オープン前から運営スタッフチームを立ち上げて、**自然観察センターの基本計画や展示の方向性・運営方針を新たに策定**。また、施設を活かしたスムーズな運営ができるよう**ボランティアと毎月パークミーティング**を実施。これまで以上に地域の自然や文化を普及啓発する施設を目指すことに加え、国分寺崖線に関わる産官学民連携の中核を担い、30km以上に渡る**広域ネットワークのプラットフォーム**とすべく自然観察センターを運営していく。



野川の風景に調和した外観



常駐するパークレンジャーが解説



国分寺崖線を俯瞰する床面マップ



来館者に人気の生体展示や絵本コーナー

自然観察センターの運用計画

- ▶運営スタッフチームを立ち上げ、ミーティングを9回実施。
- ▶自然観察センターの**基本計画**や**展示の方向性・運営方針**を新規策定



展示の配置や企画を検討

策定した基本計画

三鷹市協力のオープン記念企画展

- ▶「はげフォーラム」の連携で**センターオープン記念の企画展**が実現。
- ▶崖線ジオラマ、オリジナル動画、旧石器標本などを三鷹市が提供。**地域の自然・歴史・文化を発信！**



国分寺崖線のジオラマで地域の地形・環境を学ぶ展示

センター機能を全国へ発信

- ▶川崎市開催「**全国都市緑化フェア**」内のガーデンツーリズム登録制度エクスカッションを受け入れた。
- ▶**国土交通省、行政・学識経験者**などに、自然観察センター機能を発信。



行政や大学等専門家の視察を受入

New!

新たな景観の創出・生態系の保全と再生

2

国分寺崖線の水辺景観を再生！水辺再生で希少種の分布拡大を達成！

三鷹市・国際基督教大学との連携で**ワサビ田再生プロジェクト**を実現。**江戸時代に地域で盛んだったワサビ栽培の環境を再生**させ、公園に新たな景観を創出した。また、池の掘削などの取組により崖線の湿地環境が回復し、**最重要保護動物ニホンアカガエル**の個体数が年々増加。**エコロジカルネットワーク計画**の最大目標である武蔵野公園への**分布拡大が14年越しで実現**した。

「三鷹大沢ワサビ」復活！ワサビ田再生プロジェクト

▶三者連携で**国分寺崖線のワサビ田**を再生。各団体の得意分野を活かし、**江戸時代に地域に広がっていた景観を再生**させる取り組みを開始。全国でもほとんど残っていない**貴重な品種の系統保全**を実現。

【三鷹大沢ワサビ】**江戸東京野菜**に登録される品種で、原産地でもほとんど絶えてしまった貴重な系統の原種ワサビ。

最重要保護動物ニホンアカガエルの分布拡大を実現！

▶**ニホンアカガエル**の分布拡大を図る**エコロジカルネットワーク計画**を**GIS**で策定。池の掘削などで湿地再生を行い、個体数の回復を図ってきた
▶令和6年に初めて武蔵野公園エリアで産卵を確認。**14年越しの目標である分布拡大**を実現した。



ボランティアの交流も促進



地域農家によるレクチャー



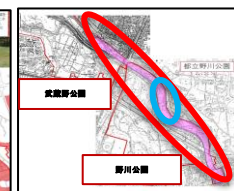
三鷹大沢ワサビ（江戸東京野菜）



絶滅危惧種
ニホンアカガエル



GISで策定したエコロジカルネットワーク計画



産卵が武蔵野公園に拡大
(青：2011、赤：2024)

New!

多様な主体との協働・意見交換の場の創出

3

ナラ枯れ後の長期対策として近隣学校と連携し、地域性種苗の育成！

公園隣接のインターナショナルスクールのニーズをパークコーディネーターが受け止め、新たに**社会貢献プログラム**を実現。地域で社会問題となっている**ナラ枯れ後の長期対策**として、**どんぐり育成プロジェクト**を開始。植物の地域特性を活かした**地域性種苗**をつくり、次世代に公園の**グリーンインフラ**を継承するため、**地域参加型森づくり**を実現した。

パークレンジャーによるレクチャー

▶武蔵野の自然の特徴とナラ枯れについて、**パークレンジャーが日英2言語でガイド**。

▶ナラ枯れ原因と地域環境の課題について現地確認で理解を深め、森づくりに参加するモチベーションを向上させた。



パークレンジャーの現地ガイド

ナラ枯れ問題の学習と次世代の苗づくり

▶**ナラ枯れ後の長期対策として地域参加型森づくり**を推進。**パークレンジャーが日英2言語でレクチャー**し、公園の地域特有の遺伝子を持つ**地域性種苗**を作成。苗木は1年以上学校で育成し、**東京都事業**で園内に植える計画。



日英2言語でレクチャー



公園で地域産のどんぐりを採取



地域性種苗を育成する

New!

社会課題への対策・対処するための取組

4

マイクロプラスチック流出防止装置を設置、社会課題に対処する公園管理を実践！

社会課題となっているテニスコートでの**マイクロプラスチックの流出対策**として、集水桝に**自作のトラップを設置**した。対策を講じるにあたり、公園に隣接する**国際基督教大学の小林牧人特任教授**の指導を仰いだ。同大学で実際に研究、設置しているトラップを参考に公園で作成、設置を行った。**トラップの材料は市販のステンレスメッシュ**を使用。設置後、降雨時に流出防止効果を確認できており、**身近で安価な素材を用いて環境汚染対策を実現できた**。



流出防止装置作成の指導を受ける様子



ステンレスメッシュを袋状に加工



自作したトラップ



トラップは管に設置するだけ

その他の取組

- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施
- ・パークモニタリングアプリの運用
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映
- ・防災学習会の実施、防災マップの配布
- ・ランドスケープパトロール実施
- ・「森の地図スタンプラリー」実施
- ・農工大と連携したナラ枯れ全木調査の実施
- ・環境教育グッズの製作、デジタル化（レンジャーミニ図鑑など）
- ・ボランティアとの自然保全作業
- ・BBQオンライン予約システムの運用
- ・オリジナルグッズ/パークライフマガジン/公園まちガイドマップ
- ・園内全域に及ぶ整備工事への協力

など



都立玉川上水緑道

所在地：福生市、昭島市
立川市、小平市
三鷹市、武蔵野市、杉並区
開園面積：14.7ha

<マネジメント目標（玉川上水緑道パークマネジメントプランより）>

- ・安全・快適な公園づくりを行う都立公園
- ・水と緑のネットワークを形成する都立公園
- ・自然とふれあえる場となる都立公園
- ・独自の魅力づくりに取り組む都立公園
- ・子どもたちの健やかな成長の場となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

公園
特性

地域
特性

- 多摩川の羽村から四谷大木戸までの43kmに及ぶ玉川上水に沿って造られた緑道で、杉並区浅間橋から福生市の平和橋までの**24.4kmが開園**されている。
- 古くから多摩・武蔵野エリアの人々に親しまれ、平成15年には、羽村取水口より下流地域が**国の史跡に指定**された。
- 一方で、**老木化した樹木対策や園路のぬかるみ対策**など、保全面と快適性の確保が課題。

ポテンシャル
分析

- 玉川上水と周辺の自然と文化を守る**市民活動が盛ん**。
- 小金井公園、井の頭恩賜公園などの公園緑地をつなぐ緑道であり、**ウォーキングの利用も多い**。
- 近隣には、小・中・高および大学が多く隣接し、JRや私鉄各線の駅が近いため、**通勤・通学のための利用が多い**。
- 小金井橋を中心とした約6kmは**小金井桜の名所**として知られ、大正13年には国の名勝指定も受けた。

テーマ

都市に潤いをもたらす
水と緑のグリーンライン

New!

1 ガイドライン活用とパートナーシップによる保全 玉川上水緑道保全活用ガイドライン（武蔵野市エリア版）完成！

「玉川上水緑道保全活用ガイドライン」の杉並区エリア版が令和3年度までに完成し、ボランティア活動が活発化。生物多様性が飛躍的に高まり、**絶滅危惧種キンランが1.7倍**に増加するなど成果が現れた。令和6年度には**パークミーティングにより「武蔵野市エリア版」が完成**。初となる生物多様性スポットの設置など、玉川上水を軸に**ネイチャーポジティブ**の輪が広がっている。

武蔵野市エリア版のガイドライン完成！

- ▶**パークミーティングを2年で計6回開催**。武蔵野市エリアのゾーニング、動植物の目標、管理手法とスケジュールなど記載内容を協議。**武蔵野市エリア版を完成**させた。
- ▶パークミーティングで、地域の山野草を楽しみながら散策できる方法を検討。生態系保全と自然観察とを目的としたボランティアと協働管理の**生物多様性スポットを初設置**。

杉並区エリア版の実践運用で生物多様性大幅向上！

- ▶**杉並区エリア版のガイドライン**に基づいて、市民団体や地元中学校と連携したきめ細やかな保安全管理を継続。
- ▶外来種除去などにより生態系が回復。**絶滅危惧種キンランが昨年度の1.7倍**に増加し、**ギンランを5年ぶりに確認**。ガイドラインの実践運用により抜本的に生態系が回復。ボランティア機会を創出し、**地域参加型の取組が推進**できた。



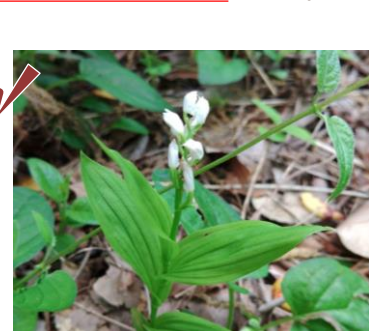
目標とする将来像や具体的な管理方法を議論



玉川上水内の山野草を拡大させる生物多様性スポット



ガイドラインに沿って外来種やササ類を除去



手入れされた雑木林を好む絶滅危惧種ギンラン

【玉川上水緑道保全活用ガイドライン】

自然と歴史を次世代に継承し、安全安心に利用できるグリーンウェイとして、緑道の関係団体等と共通認識を持って、管理を進めるための基本指針。長い緑道の地域ごとの特色を反映するため、エリアごとの策定を進めている。



2

住民の要望に応え、支障を先取りしていく維持管理

パークモニタリングアプリと連動させた維持管理

ALL Parks

利用者から日々寄せられる要望に対しては、**専任の緑道キーパー**が迅速に現地確認を行い、パークモニアプリで記録することで**迅速に対応**を実施している。また**蓄積するデータ**を日々の点検に生かし、**支障の予見と予防**にあたることができた。

Step.1

現場で状況を確認、アプリに入力

- ▶ 要望や支障は、位置情報や写真を**アプリで記録**する。現場で記録した情報は、管理所でリアルタイムで確認でき、**事態への迅速な対応**が可能になっている。



緑道キーパーはパークモニアプリが入ったスマートフォンを携帯しており、支障の内容や状況写真などを現地で入力する。

Step.2

記録データから維持計画を策定

- ▶ アプリに蓄積された情報は、一覧表示することができ、支障発生が多い個所を解析して**予防のための維持管理計画**を作成。



過去の記録はマップ上に一覧表示され、発生動向を確認することができる。

Step.3

支障を予防し、迅速に対処

- ▶ データを基に、今年度は要望の多い一番橋エリア、支障確認の多い西中島橋エリアでの**剪定**を実施。同エリアでの**要望件数と事故件数がゼロ**となった。日常巡回においても重点的に点検を行い、いち早い支障の発見、対応ができた。



支障には緑道キーパーがその場で対応。

地域と連携した武蔵野エリアをめぐる広域スタンプラリーの開催

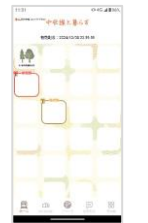
3

「第21回森の地図スタンプラリー」にてガイドツアーやパネル展示実施！

武蔵野エリアを回遊しながら地域の緑・水・歴史の魅力を発見する「**第21回森の地図スタンプラリー**」を開催。今回は、**リアルとデジタル両方で集められるスタンプ**を5公園に設置。武蔵野の公園パートナーズは**ラリーポイントとして参画しつつ、企画内容の充実化**を行った。広域連携により、国分寺崖線など**武蔵野地域の魅力発信に大きく貢献した**。



広報ポスター



デジタルスタンプ取得画面



リアルスタンプを押す参加者(武蔵野公園)

主催: 森の地図スタンプラリー実行委員会
(一般社団法人武蔵野コッツウォルズ / 公益財団法人東京都公園協会 / 武蔵野の公園パートナーズ)
後援: 立川市 / 東大和市 / 小平市 / 国立市 / 国分寺市 / 府中市 / 小金井市 / 調布市 / 三鷹市 / 武蔵野市
協力: 株式会社JR中央線コミュニティデザイン、東日本旅客鉄道株式会社、京王電鉄株式会社、西武鉄道株式会社、明治安田生命武蔵野支社

ガイドツアー実施

- ▶ **パークレンジャー**が講師を務め、玉川上水エリアと国分寺崖線エリアの**計2回のガイドウォーク**を実施。



パークレンジャーが自然や歴史を解説

パネル展示

- ▶ 武蔵国分寺公園では、**イベント「ぶんぶんウォーク」**内で国分寺崖線について紹介した**パネル展示等**を行い、地域の見どころを発信。



パネル展示を鑑賞する参加者

子ども達の健やかな成長を応援するプログラム

4

雑木林のキッズレンジャープログラム

- ▶ 緑道近接の**小学校と13年目連続で連携**。雑木林活動を体験する**キッズレンジャープログラム**を展開。
- ▶ 観察⇒調査⇒保全の一連の流れを**パークレンジャー**のレクチャーで体験。
- ▶ **デジタル技術**を活かして、大人数を一度に対応。公園が子どもたちの貴重な原体験の場となった。



オンラインで観察方法をレクチャー



落ち葉かきによる林床整備を体験

その他の取組

- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映
- ・パークスキャン&ランドスケープパトロールの実施
- ・生物多様性普及啓発事業

- ・むさしのキッズチャレンジなどレンジャープログラム
- ・スポーツコーディネーターによるスポーツ教室
- ・環境教育グッズの製作、デジタル化(レンジャーミニ図鑑等)

- ・多言語パンフレットの発行
- ・PLAY BOOK/パークライフマガジン/公園まちガイドマップ
- ・パークモニタアプリの運用
- ・オリジナルグッズ

など

5

自然災害を未然、最小限に防ぐ対策

安全、安心のための巨木管理を継続実施

- ▶ 巨木化が進む緑道の樹木。**倒木防止、万一の際の被害軽減**を目的とし、**樹高を下げる樹木管理**を計画的に**継続実施**。ナラ枯れ樹木の伐採・剪定と合わせ、近隣住民や施設の安全性を高めることができた。



剪定前: 暗くうっそうとした樹木



剪定後: 駅前広場が明るくなり、落ち葉も減少した



都立武蔵国分寺公園

所在地：国分寺市
開園面積：11.5ha

<マネジメント目標（武蔵国分寺公園パークマネジメントプランより）>

- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・水と緑のネットワークを形成する都立公園
- ・自然とふれあえる場となる都立公園
- ・子どもたちの健やかな成長の場となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

公園
特性

地域
特性

- 南側は、**国分寺崖線**につながる野鳥の森、木々に囲まれた広場が落ち着いた雰囲気。北側には外周500mの**円形広場**と水景施設からなる開放感のある空間が特徴。
- 国分寺の魅力再発見をテーマに、市内のカフェやギャラリー、大学等が連携して開催する「**ぶんぶんウォーク**」が**毎年秋に開催**され、公園がメイン会場となっている。
- 武蔵野の天平史跡群の中に位置**し、まち歩き観光者や自然散策者が多く訪れる。

ポテンシャル
分析

- 旧国鉄の「中央鉄道学園」等の跡地を整備してつくられており、周辺地域は**埋蔵文化財包蔵地に指定**されている。
- 周辺には「武蔵国分寺跡」や「お鷹の道」、「真姿の池」などの**名所、旧跡が点在**している。
- 公園周辺には集合住宅が立ち並び、**感度の高い子育て世代が多く、地域活動が盛ん**。

テーマ

歴史・文化と水のまち
“むさしのパークライフ”の提案

「あったらいいな」をみんなで作る公園プロジェクト

1 公園の魅力アップ！みんなの「あったらいいな」を地域連携で実現！

てのわ森の中美術館 2024



- ▶作家グループとのコラボによる **アート作品を屋外に20個展示！**
- ▶パークレンジャーとアーティストとの連携による、**「アート×自然」のコラボガイドウォークを初開催**。展示にちなんだ動植物の魅力を発信して大好評！
- ▶**公園の自然とアート作品の調和**は、**アート鑑賞になじみのない方**からも人気を集め、公園の魅力新たな利用者へ発信！

こくフェス（うくフェス）



- ▶「音楽に触れる機会や発表できる場を作ることでまちを元気にしたい」という **地域の声から生まれた音楽イベントを開催！**
- ▶ウクレレの演奏を楽しみながら、ヨガやフラ、アロママッサージのワークショップに参加できる企画を実施。
- ▶新たに**環境配慮の普及テーマ「E環境で、E音楽を！」**を打ち立て、**自然エネルギーで自給自足する移動式の小屋「えねこや」**が出展！**SDGs推進に一役かった。**

New!



コラボガイドウォークでは作品にちなんだ動植物を解説



野鳥の森に展示されたアート作品

New!



太陽光発電と蓄電池で電力を自給する「えねこや」



ウクレレパフォーマンスの様子

New!



出展作家同士の交流を深める座談会



手を合わせて写真が取れる参加型アートも登場



開放感のあるアロママッサージ



ウクレレの音を聞きながらできるヨガのワークショップ

【「あったらいいな」をみんなで作る公園プロジェクト】

公園をもっと魅力的な場所にするために、公園に「あったらいいな」とワクワクすることを市民と共に実施するプロジェクト

2

地域連携による地域・公園価値の向上につながる取組

パークミーティングで基礎的自治体との関係づくりを促進！

- ▶【夏期】公園隣接地への国分寺市役所新庁舎の移転（1月）にあたり、公園と市庁舎の敷地が広場により接続するため、相互利用の促進を図る目的で、夏期に3回のパークミーティングを実施。公園の利用ルールやポテンシャル分析、都民協働イベントの状況などから公園の特性・課題、地域との関わりを共有し、都民・利用者の潜在的なニーズと新たなニーズの両方を検討し、市の担当者との顔の見える関係を構築！
- ▶【冬期】夏期のパークミーティングや各イベント実行委員会との話し合いを踏まえ、冬期には次年度のイベント等での協力体制を検討する場を設けた。公園ルールとの擦り合わせや相互利用の可能性について具体的に詰めることができた。



【夏期】国分寺市担当者と3回の検討会を実施



公園の状況を確認



様々な利活用の案が出た



【冬期】次年度のイベント等の協力体制についての話し合い

3

資源の有効活用と公園が持つ緑の特性を引き出す維持管理

資源循環型の維持管理と公園の魅力を引き出す景観づくり！

粗朶柵

- ▶園内の発生材で作製した粗朶柵でゴマダラチョウの生息環境を創出。



幼虫の越冬場所となるエノキの葉を使用

マルチング

- ▶落葉で作った腐葉土に**籾殻くん炭**とを混ぜ、**花壇の花苗のマルチング**に利用。



園内初となる不耕起での植え付け

四ツ目垣

- ▶竹林整備で発生した竹を再利用し、**園内の景観と調和した四ツ目垣**を作製。



竹の豊かな風合いと手作りの温かみ

ランドスケープ

- ▶ランドスケープマネージャーのアドバイスをもとに整備し、**奥行のある美しい景観へ変化**。



野鳥の森を一望できる大パノラマ

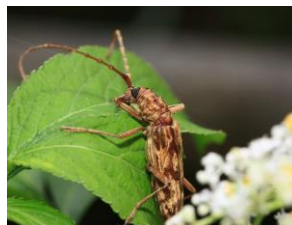
4

生態系の保全と再生

地域と連携した保全管理により、希少種2種を初確認！

New! 保全活動の成果！動絶滅危惧種を初確認！

- ▶地域の6つの団体と連携した林床整備や外来種除去などの継続した保全活動に加え、今年度は**2基のエコスタックを新規に設置**。これらの活動により、**絶滅危惧種の昆虫2種を初確認！**現地には保全活動を紹介する普及啓発看板を新規設置。



エコスタックから発生したキマダラカミキリ

New! 新たなボランティア活動がスタート！

- ▶地域で奉仕活動を行う団体「国分寺三田会」のニーズをパークコーディネーターが調整。**新規連携によるボランティア活動を実現**させた。地域の様々な主体との**協働による雑木林の保全管理を推進**した。



新規にエコスタックを設置

5

公園の多様な過ごし方を提案

パークライフマガジン20号 発刊！



これまでのパークライフマガジンの紹介

表紙

- ▶パークライフマガジンの記念すべき20号を発刊！「公園×アート」をテーマに作成し、てのわ森中美術館をピックアップ！**地域と連携することで実現した、公園の新しい利用方法を提案**できた。

その他の取組

- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映
- ・パークスキャン&ランドスケープパトロールの実施
- ・農工大と連携したナラ枯れ全木調査の実施

- ・パークモニタリングアプリの運用
- ・防災学習会の実施、防災マップの配布
- ・レンジャーミニ図鑑などセルフガイドシート配布
- ・地域連携イベント「ぶんぶんウォーク」

- ・キッズプログラム「あそぶの森」
- ・掲示板改修/点字パンフレット貸出
- ・PLAY BOOK/パークライフマガジン
- ・桜マップ新規作成/樹木マップ更新

など



都立東伏見公園

所在地：西東京市
開園面積：5.3 ha

<マネジメント目標（東伏見公園パークマネジメントプランより）>

- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・安全・快適な公園づくりを行う都立公園
- ・水と緑のネットワークを形成する都立公園
- ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

公園
特性

- のびのびと体を動かせる多目的広場が広がり、**西武鉄道を見下ろす展望の良い休憩施設**がある。
- 近隣に大きな広場を有する公園がないため、**地域の子どもの格好の遊び場**となっている。
- 一方で、利用者がふえ、安全管理や利用指導が課題。

ポテンシャル
分析

地域
特性

- 特別緑地保全地区に指定されている**東伏見稲荷神社の森が隣接**し、緑豊かな景観を形成している。
- 公園南側には、石神井川が隣接し、**緑と水に恵まれた立地**にある。
- 公園北側には、東西の西武新宿線が隣接しており、**西武柳沢駅からのアクセスが良く**通勤通学のための通過利用も多い。

テーマ

緑と水に恵まれた
ヘルシーパーク

すべての利用者が心地よく公園を使えるマナー向上のためのキャンペーン

1 マナーアップキャンペーンを実施！誰もが快適に過ごせる公園づくりを推進！

ALL
Parks

各公園の利用状況にあわせ、「**犬のマナーアップキャンペーン**」、「**野鳥観察マナーアップキャンペーン**」など、マナーアップキャンペーンを実施。のぼり、ポスターなどで取組の周知を行うと共に、テーマごとに有識者や地域市民団体と連携し、普及啓発の動画配信やイベントも実施した。多彩なマナーアップキャンペーンを通して、**誰もが安心して快適に過ごせる公園づくり**を進めることができた。

犬のマナーアップキャンペーン

- ▶今年で**13年目**となる、愛犬家のマナー向上を目的とした「犬のマナーアップキャンペーン」。継続して実施することで、愛犬と公園を楽しむ際のマナーを着実に浸透させている。
- ▶犬の基礎知識や愛犬家へのマナー指導方法を学ぶため、全スタッフ向けにドッグカウンセラー監修の動画で研修を実施。学びを活かして**ノーリード等マナー指導を強化した巡回を行い**、安心して快適に過ごせる公園づくりに貢献した。



キャンペーンポスター



ポスターを付けた自転車で巡回し、必要に応じてうんち袋をお渡し



愛犬家へのコミュニケーション型指導を動画で学習し、実践



キャンペーンに連動して、愛犬家団体との合同クリーン運動も実施

野鳥観察マナーアップキャンペーン

- ▶野鳥観察のピークを迎える冬季にマナー啓発を行うキャンペーンを実施。今年度は、冬季に温かみのある空間を演出するため、**キャンペーンのイメージカラーを青からオレンジに一新**。来園者からも好評の声が多数寄せられた。
- ▶新規配布したリーフレットでは、**野鳥観察の楽しみ方も発信**し、ビギナー向けにもマナー啓発を行うことができた。



新規配布リーフレットには「野鳥の探し方」を掲載



キャンペーンと連動して、管理所では野鳥観察セルフガイドシートを掲示・配布



来園者の利用の多いエリアにのぼりを立てPR



野鳥専門の地域市民団体と協働で野鳥観察会を開催

適切な維持管理を行うための取組

2 段差の解消工事を実施！遊具周りの安全性が向上！

- ▶ ローラーすべり台が丘の上に設置されており、降雨によって土が削られ段差が生じた。ゴムマットのステップや山の斜面の階段部分にできた段差での転倒を未然に防ぐため盛土を行い土留めの設置と芝貼りを行った。そうしたことで土の流出防止と段差解消を図り利用者へ安全な環境を提供することができた。
- ▶ 人気の遊具が芝の活着期間中も利用できるよう乗り口を逆サイドに設ける修繕計画を立てたことで、利用の制限期間を最短3日間にすることができた。



土が削られた山頂部（改修前）



盛土工事（改修中）



土留めを低木で囲い芝生を造成（改修後）



ゴムマット段差解消

都民の健康増進への取組

3 多世代に向けた各種スポーツ教室と誰でも気軽に参加できるスポーツイベントを開催！

ALL Parks

- ▶ スポーツの楽しさを知る機会・日々の健康づくりの場として、「ノルディックウォーキング教室」「キッズ&ジュニア走り方教室」などのスポーツ教室を10種類・計77回開催した。また、様々なスポーツ体験をできるイベント「チャレンジキャラバン」も開催。スポーツへの興味・関心を深める場となった。教室とイベントでのべ1761人の参加があり、多くの方へ健康増進や運動のきっかけづくりの場を提供したことでヘルシーパークの推進に寄与することができた。



「ノルディックウォーキング教室」



「キッズ&ジュニア走り方教室」



「はらっぱスポーツ教室」



スポーツイベント「チャレンジキャラバン」の様子



職員の技術・能力向上の取組み

4 公園管理能力を上げる多彩な研修を実施

- ▶ ユニバーサル研修は外部講師を招いて「難聴」をテーマに学び、聴覚障がいについて理解を深め、利用者対応の品質を向上することができた。
- ▶ 接遇やコンプライアンスなどの基本的な研修は、最新事例を交えて繰り返し学び管理運営に反映！
- ▶ 新任スタッフへは不安なく業務に移れるよう、パートナーズ独自の導入研修を実施！



ユニバーサル研修



筆談マークの掲示、ホワイトボード、コミュニケーションボード

利用促進のための具体的な取組み

5 鉄道機関との広報連携で認知度向上！

- ▶ 西武鉄道沿線の全92駅で配布された発行部数4万部の広報誌「西武鉄道かわら版」で公園を紹介。
- ▶ 公園の見所を効果的に発信し、公園の認知度が向上。前年度より来園者数が約75,000人増加した。



掲載を見て来園し、ローラーすべり台に遊ぶ親子



表紙は人気のローラーすべり台！

その他の取組

- ・ PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映
- ・ パークスキャン&ランドスケープパトロールの実施
- ・ 施設点検の徹底と改修作業による施設の長寿命化
- ・ パークモニタリングアプリの運用
- ・ むさしのキッズチャレンジなどレンジャープログラム
- ・ レンジャーミニ図鑑などセルフガイドシート配布
- ・ 西東京市危機管理室との連携
- ・ 西東京市立保谷中学校との連携
- ・ オリジナルグッズの販売

など



都立六仙公園

所在地：東久留米市
開園面積：7.6ha

- < マネジメント目標（六仙公園パークマネジメントプランより） >
- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
 - ・安全・快適な公園づくりを行う都立公園
 - ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
 - ・スポーツによる健康づくりの場となる都立公園
 - ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

公園
特性

- 芝生広場、みはらし広場等の**原っぱと運動広場や健康遊具**が設置された健康づくりゾーン、地下水が気持ち良い**水景施設等**が整備されている。
- 花壇ボランティアの活動による花壇の花々**が来園者を温かく迎えている。
- 市民企画のイベント関係による地域の**人々のコミュニティが再構築**されつつある。

ポテンシャル
分析

地域
特性

- 「**水の森創造**」をコンセプトに、武蔵野の原風景再現と、隣接する「南沢湧水地」の涵養地としての整備が進んでいる。
- 公園西側、および南側には住宅地や農地が混在し、**地域住民の日常的な利用**が多い。
- 小学校跡地という立地や、近隣に小中学校があることもあり、**子どもたちの利用**が多い。
(中学生の花壇ボランティア活動もある)

テーマ

湧き出す地域コミュニティ

地域のコミュニティを構築し、防災の拠点となる公園へ

1

「防災キャラバンin六仙公園」開催！つながりの場を提供し、地域防災力をさらに向上！

- ▶ **いっつき避難場所**である六仙公園で、「**防災**」をテーマに**公園中心の地域コミュニティを構築**するため「防災キャラバンin六仙公園」を開催。防災に関する地域の取組や情報を、ワークショップ、飲食、展示など多彩なブースで発信した。
- ▶ イベントに先立ち、オンラインプラットフォームで日常的な連絡共有を行うことで、**地域の顔の見える関係を構築**することができた。また、出展者説明会にて、**出展者自らが出展内容を共に考えるワークショップを実施**したことで、テントサウナ内でマッサージを提供するブースの展開など**出展者同士の自発的なコラボレーション**を生み出すことができた。
- ▶ イベントを通して、災害時に必要な地域のつながりを公園中心につくることができ、**地域防災力を高める**ことができた。



イベントチラシ



能登半島地震時に採暖室として活躍したテントサウナ



出展者発案、テントサウナ内でのマッサージブースのようす



イベント来場者と出展者の会話を促すスタンプラリー「ボーサイくんをさがせ！」を実施



ドラマ仕立てのAED講習はイベント来場者を巻き込んで実施



消防士になりきって初期消火訓練！



普段入ることのできない近隣の給水所にて、水道局が給水体験を実施

参加者の声

- ・災害に関して、勉強になりました。備蓄品が少ないことを自覚しました。
- ・スタンプラリー「ボーサイくんをさがせ！」にやりがいを感じられて良かった。
- ・（防災グッズや備蓄品などについて）少しは準備していますが、改めて確認したいと思いました。

主催：防災キャラバンin六仙公園実行委員会（武蔵野の公園パートナーズ、東久留米市防災防犯課、防災マーケットチーム）
後援：東久留米市、東久留米市社会福祉協議会 協力：東京都消防庁東久留米消防署、Sotoburo（株式会社furo）

誰もが気軽に参加できる「ちょいボラ」の拡充

2 誰でも参加しやすい「ちょいボラDAY」を毎月開催！ボランティア活動の周知にも貢献！

- ▶ 昨年度まで春・秋開催だったイベント「ちょいボラDAY」を毎月開催。誰でも気軽に参加できるボランティア活動の機会を創出した。花の植え替えや花がら摘みなど、誰でも簡単にできる作業を用意し、軍手などの必要備品も貸し出したことで、気軽に飛び入り参加できる体制を整えた。年間で約100人が参加し、公園の花壇に愛着を持つ方を増やすことができた。
- ▶ 「ちょいボラDAY」参加者が、ボランティア団体「六仙公園花ボランティア」に加入する流れも生まれ、園内のボランティア活動の周知にも貢献した。



イベントチラシ



「ちょいボラDAY」での花がら摘みのようす
小中学生が飛び入り参加！



「ちょいボラDAY」で花壇作業を初めて
体験したという子どもも多い



お手入れした花壇と一緒に
記念撮影！

質の高いサービスを提供するための取り組み

3 4月1日にサービスセンターが開所！利用者の利便性が向上！

- ▶ サービスセンターの設計にあたり指定管理者が蓄積したノウハウを活かし授乳室のニーズの高さや大人用介助ベッドの設置を提案したことで、利用者ニーズに合った施設が実現できた。利用者からは「だれにでも使いやすい施設ができて嬉しい」と好評を得た。充実したサービスにより利用者の満足度を高めることができた。
- ▶ 公園の歴史や周辺地域の情報案内、専門のスタッフによる動植物の情報を窓口で直接対話したことで質の高い効果的な情報発信ができた。



サービスセンターOPEN！



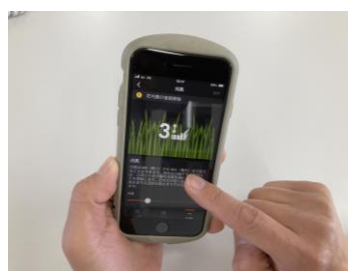
子どもたちで賑わうサービスセンター

品質向上と環境問題を意識したの取組

4 環境に配慮したロボット芝刈機の導入！



自動芝刈り機「オートモア」



アプリで芝の刈高さやスケジュールを管理

- ▶ 管理所と住宅の緩衝地帯にはロボット芝刈機を導入し、隣接する住宅への石飛や騒音を回避した草刈りを実施。
- ▶ 電動刈払機も導入して公園のDX化を進めCO2を削減。エンジン式に比べ騒音や排気ガスの臭気が大幅に軽減し近隣住宅へ配慮した作業が可能となった。

その他の取組

- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施
- ・パークスキャン&ランドスケープパトロールの実施
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映
- ・草刈り時のバッタランドの創出
- ・施設点検の徹底と改修作業による施設の長寿命化
- ・パークモニタリングアプリの運用
- ・「六仙公園花ボランティア」との花壇作業
- ・むさしのキッズチャレンジなどレンジャープログラム
- ・レンジャーミニ図鑑などセルフガイドシート配布
- ・スポーツコーディネーターによるスポーツ教室
- ・PLAY BOOKの配布
- ・オリジナルグッズの販売

など

5 効果的な情報発信、鉄道機関との広報連携 沿線鉄道のウォーキングイベントと連携！



初めての六仙公園で記念撮影



園内を散策する参加者

- ▶ 西武鉄道のウォーキングイベント「落合川から六仙公園を散策」に約1,300人が参加。園内は六仙公園を初めて訪れた多くの方で賑わい、公園の魅力を知ってもらうことができた。

